

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・この冬はとて寒かったが、いよいよ春が来るため、冬の閉塞感から解放されて気分が良くなって人もお金も動き、良くなる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・東日本大震災から1年がたち、前向きではないが、前年に比べるとやや良くなる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・季節も良くなってくるので、エアコンや太陽光発電関連になお一層の力を入れることにより道は開け、やや良くなる。
		百貨店（営業担当）	・気温の上昇で春物の動きが良くなる。
		コンビニ（経営者）	・近隣のレジャー施設の増設や気候が良くなって来客数が増えるため、やや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・これから春の到来と共に、暖かくなると人出も増えるため、良くなる要因のほうが多い。
		コンビニ（経営者）	・店前の道路工事が数か月かかるので、その来客が見込め、良くなる。
		衣料品専門店（店長）	・前年は東日本大震災で春物から初夏物商材の動きが極端に悪かったため、前年に買い控えていた分、商材の動きが良くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・需要時期になり、エコカー減税の効果で良い方向に推移する。
		乗用車販売店（統括）	・エコカー補助金や新型車等の影響によって販売量が多くなっている今の状態が、半年は継続される。
		自動車備品販売店（経営者）	・東日本大震災の影響による不安や、いろいろお金が掛かることがあり買い控えがあったが、やや購買意欲が高まってきて数字が上がってきているため、やや良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・春の謝恩会や観光シーズンで、5月までは順調に来客数が増える。
		一般レストラン（経営者）	・この時期も節約傾向にあるとは感じず、この先の予約状況は良い。
		観光型ホテル（営業担当）	・当観光地は冬期は閉鎖となり、例年では繁閑の差が激しい。4月にはシーズンインとなり、それを機に来客増を期待している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・前年は東日本大震災で予約等のキャンセルが続々と発生して非常に大きな痛手となり、大分切ない思いをしたが、今年はそういうことがないよう祈念するし、少しは良くなりそうである。
		旅行代理店（経営者）	・陽気のために客の動きが上向いているため、多少良くなる。
		タクシー運転手	・東日本大震災の復興事業による内需の拡大や円安、株価上昇により、やや良くなる。
		通信会社（経営者）	・一般企業の動きは期待できないが、行政、外郭団体は共に3月からの新年度予算の見積が動き出し、年度明けの受注につながりそうであるため、やや良くなる。
		ゴルフ場（副支配人）	・当社は1月にクローズし3月から再開する。3か月後の予約はかなり来ているため、来場者数は増加し、やや良くなる。
	変わらない	商店街（代表者）	・昔のように何でも買うというわけではないが、これからいろいろなスポーツシーズンに入り、必要な物は購入するため、しばらくの間はやや良い状態が続く。
商店街（代表者）		・今のところ飲食店以外でも非常に悪いといわれているが、春の暖かさが戻れば人が出てきてくれる。	
一般小売店〔青果〕（店長）		・良くなる要素もなく悪くなる要素もないが、当地域は福島第一原子力発電所の事故の風評被害がかなり厳しく、収束に向かわないと地方発送や進物等が伸びない欠点があり、やや悪くなるか、変わらない。	
百貨店（営業担当）		・石油製品や電気料金の値上げといった消費を抑制する話題が多いため、まだまだ消費マインドが上がる買物というところまでは気持ちがいかない。	
百貨店（販売促進担当）		・消費税増税の議論など、消費マインドの低下が懸念される。数字上、今後2～3か月は東日本大震災の影響によるマイナスとの比較となるためプラスと予想できるが、本当の意味での景気回復には至らない。	
百貨店（販売促進担当）		・全体の売上をけん引するような部門が見当たらず、今後も同様の流れが続く。	
百貨店（店長）		・改善に向かう要因が当面見当たらないため、変わらない。	
百貨店（店長）		・数字が2、3年前及び数か月前よりは悪くはないが、これが伸びていくようには感じられない。	
衣料品専門店（統括）		・客の状況を見ていると、需要の停滞、他地区への流出など、街に客が戻る様子がまだ見られない。	

衣料品専門店（販売担当）	・来客数の動きはますます落ちていく一方である。客も先行きの不安を口にしている。底も先も見えない雰囲気、真っ暗闇で戦っているような状況である。暗中模索だったらトンネルを抜ければ何とかなりそうだが、残念ながら希望の光はどこにも見えないため、変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	・エコカー補助金やエコカー減税が続いている間はこのような売行きが続く。本当に今までそういうものがなかったため、前回もそうだったが、今回の補助金もかなり景気に影響している。
乗用車販売店（販売担当）	・当地域は観光地であるため、早く福島第一原子力発電所の事故の風評被害がなくなるように頑張っていくが、観光客が増えてホテルあたりが活気づけば、やや景気が良くなる。ただし、まだ風評被害はあり、ホテルも活気づいていないので、現状が続く。
乗用車販売店（営業担当）	・ショールームに来場した客をいかに早期に契約に結び付けるかが重要なポイントになる。
住関連専門店（統括）	・消費税増税の議論、年金問題や福島第一原子力発電所の事故等、先行きが不透明なため、買い控えが続く。
住関連専門店（仕入担当）	・放射性物質の影響による余波が継続しており、家庭園芸やアウトドアレジャー中心に苦戦する状況は変わらない。
一般レストラン（経営者）	・異業種、同業種などいろいろな話を聞いても、良くなるという話はあまり聞けず、逆に悪くなっているという話のほうが多いため、変わらない。
一般レストラン（経営者）	・変わらない円高傾向と、福島第一原子力発電所の事故による食材への風評被害の影響を考えると、商売や取引がしづらくなり、大手優位で結局は一般営業者にしわ寄せがきそうである。
観光型旅館（経営者）	・景気そのものはバブル崩壊以降、経済成長が緩やかに成長する動きになっており、この20年間変わっていない。時代の変化でビジネスモデルは激しく変わってきているが、景気自体は極端に良くも悪くもなっておらず、変わらない。
都市型ホテル（営業担当）	・通常4月は新しい動きもあるので宿泊率が上がるが、電気料金値上げや消費税増税の議論などがあり、いろいろな会社や法人はなかなか経費が出ない状況で、宿泊への経費も絞る形になるため、変わらない。
旅行代理店（副支店長）	・個人旅行はかなり回復している感があるが、当店の法人営業、法人旅行は先行きがなかなか伸びず、商品自体が間際化しているため、変わらない。
旅行代理店（副支店長）	・円高による企業ダメージで、決算次第ではこの先の業務渡航や一般旅行は減るが、春から夏に向けての受注は前年の東日本大震災前に比べると悪くはなく、現状とあまり変わりがない。
旅行代理店（営業担当）	・例年、年度初めは旅行需要が伸びないため、変わらない。
通信会社（総務担当）	・個人消費の低迷が継続する。
通信会社（局長）	・電気料金値上げの可能性や消費税増税の議論などの不安材料が消費マインドを阻害する要因となる状況は変わらない。
通信会社（販売担当）	・消費税増税の議論や電気料金値上げなどにより、先行きが不透明なため、変わらない。
テーマパーク（職員）	・先行き不透明感が強く、今よりも良くなる気配が感じ取れない。
遊園地（職員）	・東日本大震災からの回復速度が緩やかになってきているため、今後の景気はあまり変わらない。
ゴルフ場（業務担当）	・平日の来場はシニア層が多いせいか、比較的安定した顧客層を確保できている。今後1年間は平日はあまり変わらない推移をしていくと思うが、土日は安いプランに集中して早めに組数が埋まり、なかなか売上が伴わないため、総体的には前年比くらいに行けば良い状況である。コスト面の削減は既に目一杯の状況なので、収支の改善は見込めない。
競輪場（職員）	・他場の売上もそれほど変化が見られない。
その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・近場の客が利用することの多い、当店のようアミューズメント施設では、景気の影響が遅れてくるというより、あまり影響を受けづらい分野である。このところ両替機で1万円札を使う客が増えてきているため、どちらかというと上向きな気がするが、全体的にはそれほど大きな変化はない。
美容室（経営者）	・3月になれば卒業式等、出掛ける機会が増え、少しでもおしゃれをしようとする客が多くなるが、前年と比べて予約が遅く、数的にはそれほど変わらない。
その他サービス [清掃] (所長)	・卒業、入学、就職などによって消費が見込まれるが、最小限の買物、低廉なものなどで明るい見通しはなく、厳しい状況が続く。

	その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・前年は東日本大震災でかなりダメージを受けた。今年はバレンタインデーのイベントも行ったが、来客数及び予約状況は横ばいだったため、今後2、3か月先も横ばいで変わらない。
	設計事務所（経営者）	・新たな計画数は少なく、仕事を維持していくことが難しい状況は変わらない。
	設計事務所（所長）	・決算時期なので何とかここで貯金を殖やし、2、3か月後安定させたいが、今月と同じように順調であるならあまり変わらない。
	設計事務所（所長）	・今のところ良くなる要因は見当たらない。景気対策の具体性が見えず、消費者の先行き不安がぬぐえない現状と同じような状態で推移する。
	住宅販売会社（従業員）	・住宅購入の条件として、住宅エコポイント制度を始め、低金利、太陽光等の補助金制度、優遇税制など需要側に有利な条件がそろっているにもかかわらず、先行きの不安感から、消費購入マインドは停滞する。
やや悪くなる	一般小売店〔家電〕（経営者）	・年度が替わり、消費者の購買意欲に期待したいところだが、消費者に訴えるこれといった商材もなく、売側の元気が出てこないところまで冷え切っているため、やや悪くなる。
	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・良くなる要素も悪くなる要素も見られないため、消費意欲は少しずつ冷えていく。
	スーパー（店長）	・前年は東日本大震災による特需があり、商材によっては通常ありえない販売があったため、この先数か月は厳しい状況が続く。
	スーパー（総務担当）	・電気料金の値上げが実施されれば企業のコストが高まり、勤め人の給与減と物価の上昇が見込まれるため、売上減につながる。
	スーパー（統括）	・長期にわたる円高、原油価格高騰や消費税増税の議論、社会保障問題、更に電気料金の大幅値上げなど、消費マインドを減退させる要素ばかりが大きく取り上げられ、景気回復の兆しは見えない。
	コンビニ（店長）	・前年夏に当店の商圏内にオープンした同一チェーンの他店の影響と思われる来客数減が、徐々に数字に表れてきている。周りをバイパスに囲まれた商店街立地の不利さがかなり出てきて、陽気も良くなる3か月後は更に影響が大きくなると思われるため、大変心配している。
	乗用車販売店（経営者）	・新型車の受注が一段落し、エコカー減税が変わるため、やや悪くなる。
	高級レストラン（店長）	・郊外に県内最大のショッピングセンターがオープンしてちょうど1年がたつが、中心街の衰退が目に見えて進んでいるため、やや悪くなる。
	都市型ホテル（支配人）	・当地域の観光イベントが2月に始まったが、予約率及び来客数が前年に比べ半分程度になっているため、やや悪くなる。
	設計事務所（所長）	・余力のある企業は参加費無料の設計コンペに参加しており、設備投資は今がチャンスと考えているようだが、今の状況では今後好転する材料がない。
	住宅販売会社（従業員）	・消費税増税の議論、電気料金、ガソリンなどの値上げによる消費意欲の停滞感が強くなるため、やや悪くなる。
	住宅販売会社（経営者）	・ここ十数年デフレ傾向にあっても慣れてきたが、東日本大震災以来、不景気感が徐々に感じられる。特に製造業が苦戦しているようで、売りたい案件が多くなっているが価格が折り合わず、インフレへの期待はあるが借入がある以上は金利上昇は厳しいかもしれない、やや悪くなる。
悪くなる	商店街（代表者）	・客も不安で買物を控えているようであるため、消費税増税の議論とインフレ経済への対応が明確に伝わらないと、悪くなる。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・前月から客の出入りも少なく、かなり状況が悪くなっていく傾向である。
	スーパー（経営者）	・心理的影響は更に悪化する。
	コンビニ（経営者）	・来客数及び客単価の減少により、悪くなる。
	衣料品専門店（経営者）	・先行きに不安があるため、悪くなる。
	家電量販店（店長）	・節約、節電、エコロジーなどのキーワードで販売促進や品ぞろえを展開しているが、これといった需要の掘り起しがないため、厳しい状況が続く、悪くなる。
	スナック（経営者）	・底が抜けた感じであり、どこまでも悪くなっていくようである。
	スナック（経営者）	・当店のような商売にはとにかく競争相手が多過ぎるし、個人営業としても見えないことが数多くあるため、悪くなる。

企業 動向 関連	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・廃家電プラントで使われる高性能フロン回収機の開発が完了し、ラインの改良と新設が続いているため、良くなる。
	やや良くなる	化学工業（経営者）	・主要商品の4月以降の受注も入り始めて一息ついており、東日本大震災の復興支援の仕事も入り始めてきたため、やや良くなる。
		金融業（役員）	・当社の取引先のなかには製造業が多々あるが、特に自動車部品製造業において受注増が見込まれており、その結果、人手不足の状況から雇用の拡大が期待されるため、やや良くなる。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・不安材料は数多くあるが、現状を維持する。
		食料品製造業（営業統括）	・円高等による景気低迷に加えて、消費者の購買意欲減退の影響で、比較的高級に見られているワインは敬遠されがちな商材であるため、この状況がしばらく続く。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・悪い状況は依然として続く。
		金属製品製造業（経営者）	・ロシアへ輸出している自動車用エアバックの部品の仕事が無くなって困っているが、それ以外の仕事量が多くなってきているので何とかなっている。一つの仕事が無くなり片方が多くなっても、結局は変わらない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・当社は東日本大震災の被災地にあるが、復興が思ったより進んでおらず、伸び悩んでいる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・まだ長期的な見通しは立っていないが、細かな開拓の努力が成果を出し始め、しばらくは安定した受注を見込める。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合い件数が少なくなっており、先行きの受注見通しは不透明である。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・1～2月は前年同月より大分調子が良かったが、今後2、3か月はあまり先が見えないため、若干良くなるくらいか、変わらない。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・良い所、悪い所がはっきりしてきている。店舗規模、品ぞろえというよりも顧客の取り込みがしっかりできているかどうかが鍵となる。
		金融業（経営企画担当）	・慢性的な景気低迷は変わらない。
		広告代理店（営業担当）	・東日本大震災の復興需要が一段落してきたため、変わらない。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・日刊紙、ミニコミ誌などへの広告出稿が低迷している。3～4月は例年でも出稿が多い月だが、出稿をためらう広告主が増えている。また、定期的に出稿している広告の中止も目立ってきている。
		社会保険労務士	・為替が大幅な円安になって輸出中心の企業が利益を上げたりしない限り、内需は大きな変化がなさそうであるため、今と変わらない。
	経営コンサルタント	・良くなるのではないかという期待感はあるものの、明確な根拠があるわけではない。相変わらず東日本大震災の影響や福島第一原子力発電所の事故の風評被害が続く。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・特段の変化は見られない。	
	やや悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・急激な原油価格の高騰が商品の直接原価に響き、利益がないほどまで追い込まれていくが、スーパーの安売りはいまだに続いているため、店や製造メーカーの財務内容は見せかけ以上に厳しくなる。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・官庁関係の次年度の入札がかなり安値になってきており、仕事も取りづらくなってきているため、やや悪くなる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・3月一杯は忙しい予定の自動車関連の仕事も4月からは減少傾向に入り、他の分野でも大きく仕事が増える予定はない。
		輸送業（営業担当）	・年度替わりに向かって新生活関連の取扱量は例年並みを確保できているが、景気対策的な対応がよく見えず、反対に消費税増税の議論などの消費の落ち込みが見込まれる。また、荷主より運賃見積の値下げ等を求められる状況も発生しているため、厳しい状況が続く。
		通信業（経営者）	・現在の景気を維持できる要素がない。
		金融業（調査担当）	・外需の減少により、製造業の弱い動きは続く。持ち直しは新年度以降になるため、東日本大震災復興需要の恩恵も小さいと見られる。

	悪くなる	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・主力自動車メーカーからの受注は4月以降、大幅に減少する。一方では4月からコストダウンということで、非常にコスト低減要請が強く、その分の原価低減がある。また、電気料金の値上げのコストが吸収されず、赤字経営になるのではないかと心配している。そういった面で派遣社員、期間社員の調整をせざるを得ない。
		建設業 (総務担当)	・公共工事主体で土木、舗装工事を行っている。受注額は前期比大幅増だが、2、3年工期の物件があり、資金的に回転が悪く効率の良い工事でないため、手持ち資金の流出になってしまい、今後の資金繰りに影響が出る。
		不動産業 (管理担当)	・来年度の保守契約の中で、オーナーから価格の見直しを迫られており、保守回数などの削減により売上の減少が見込まれる。必要最低限の部分は減らすことができないため、利幅を少なくするしかない。
雇用 関連	良くなる	○	○
	やや良くなる	人材派遣会社 (経営者)	・電子機械、自動車関連等の製造業はまだまだ厳しい状況だが、衣料品、製菓、菓子類は徐々に増えてきているように見られる。募集採用等の動きも活発さを見せてきているため、3～4月に向けては比較的上向き傾向である。
		人材派遣会社 (経営者)	・このまま長く良い状況が続くとは思っていないが、従業員も増えて売上も上がっているため、やや良くなる。
変わらない		人材派遣会社 (営業担当)	・円安で輸出企業の収益が向上し、雇用にも前向きである。雇用環境の改善により、景気の回復感がある。
		求人情報誌製作会社 (経営者)	・周辺企業では、ごく一部の企業以外は全体の状況が低迷しており、経営に対しても募集に対しても厳しい状況は変わらない。
		職業安定所 (職員)	・一般的な景気は円安方向に向かって良くなるかもしれないが、雇用面はそれに遅れていくため、まだ少し悪い状況が続く。
		職業安定所 (職員)	・年度末に向けての求人増加は例年並みと考えられるが、景気回復の表れと判断できそうな各業界の従業員募集、採用の意欲上昇は、今のところ感触としてない。
		職業安定所 (職員)	・ここ数か月、求人票が比較的高く推移しているが、企業などのヒアリングの回答によると、円高などによって先行きが非常に厳しい等の意見も結構出ている。先行きは若干落ちてくるが、急激にはそれほど変わらない状況が当面は続く。
		民間職業紹介機関 (経営者)	・企業業績において現状維持、拡大、衰退といった3つの方向が一層はっきりし、勝敗が顕著になってくる。
		学校 [専門学校] (副校長)	・既に平成24年度生の就職活動も開始されているが、採用を計画している企業数はほぼ例年と同数で、次年度の就職活動も画期的な変動はない。また、東日本大震災関連の求人も年明けに予想されていたが、特にない。
やや悪くなる		人材派遣会社 (管理担当)	・東日本大震災やタイの洪水の影響がなくなって平常になったようで、派遣契約期間が短くなっているため、やや悪くなる。
		職業安定所 (職員)	・この先も大手企業のリストラで会社都合離職者が大量に出るため、景気は下降となる。
		職業安定所 (職員)	・円高や電気料金の値上げ等、求人数に対して不安な要因が考えられ、今後はやや悪くなる。
	悪くなる	○	○